



2017年（平成29年）8月1日発行

特定非営利活動法人
あきたスギッチファンド

TEL 018-839-8941
FAX 018-829-5803
e-mail madoguchi@sugicchi-fund.jp
<http://www2.akita-kenmin.jp/~akita-npo-fund/>

あきたスギッチファンドの活動（4月～7月）

総会を4月28日に終え、今年度の事業がスタートしましたので、この間の活動を時系列で記載します。

4月17日～5月17日	少子化対策応援ファンド 募集
4月28日	総会 於：パーティーギャラリー・イヤタカ
5月8日～6月8日	第17回本ファンド助成事業 募集
6月7日	第12回チャリティ・ゴルフコンペ in 椿台 於：秋田椿台カントリークラブ
6月17日	少子化対策応援ファンド 審査会 於：遊学舎
7月9日	第17回本ファンド助成事業 審査会 於：遊学舎
7月30日	助成事業報告会 於：遊学舎 (対象：第14回、第15回助成事業 16団体)

今後の予定

10月19日	第13回チャリティ・ゴルフコンペ in 椿台 於：秋田椿台カントリークラブ
10月2日～11月2日	第18回本ファンド助成事業 募集
12月2日	第18回本ファンド助成事業 審査会 於：遊学舎



第12回ゴルフコンペ in 椿台

平成29年度 少子化対策応援ファンド

少子化対策応援ファンドは、秋田県の最も大きな課題である人口減少に対応する期待の大きいファンドである。子どもを産み育てやすい環境づくりや、子育て支援などの事業を対象としており、婚活等のイベントはここでは対象としない。

選考委員は任期途中で秋田県企画振興部秋田県人口問題対策課の久米寿氏と、(株)プレステージ・インターナショナルの高島由美氏が退任したため、その補充として、秋田県あきた未来創造部 次世代・女性活躍支援課 政策監 水澤里利氏、(株)プレステージ・インターナショナル 業務部長 川口祐一郎氏を選任し、理事会で承認を得た。選考委員長は委員の互選により水澤委員にお願いした。川口委員は都合により公開審査は欠席となった。

氏名	所属
高橋 雄悦	株式会社秋田魁新報社 総務局次長兼総務部長
小林 建一	秋田県立大学非常勤講師、前聖園学園短期大学教授
川口 祐一郎	株式会社プレステージ・インターナショナル 業務部長
佐々木 美奈子	NPO法人いきいきFネット秋田 秋田県男女共同参画センター 副センター長
水澤 里利	秋田県あきた未来創造部 次世代・女性活躍支援課 政策監

4月17日(月)に募集を開始、5月17日(水)の締切までに10件の応募があり、6月17日(土)に公開審査会を行った。応募件数としては50万円コースが突出して多かったが、審査の段階で内容を精査し助成額を調整し、全事業を採択した。

募集、応募、採択状況

助成額	募集件数	応募件数	採択件数
上限20万円コース	4	0	1
上限30万円コース	6	4	5
上限40万円コース	0	0	1
上限50万円コース	2	6	3

採択団体

20万円コース

団体名 FORESIA (秋田市)
事業名 不妊治療・育児と仕事の両立を支援する事業



不妊治療や育児を行っている方で仕事との両立が困難で悩んでいる人が多い。フォレスシアが協賛企業と契約して、アウトソーシングできる仕事を整理し提供することで、仕事をしながら治療、育児に専念できるよう支援する。協賛企業、要支援者向けに事業の広報に努める。

30万円コース

団体名 サポートグループCOCOすた（秋田市）
事業名 シングルマザーのおしゃべりカフェ・自己尊重トレーニングの充実と拡大

孤立しがちなシングルマザーがつながってお互い支え合う関係を作るために、「シングルマザーのおしゃべりカフェ」を平成26年から秋田市で開催している。これを県南部、県北部でも開催し、他の地域に種を蒔きたい。また自己尊重トレーニングとして専門家を招いて「子育てにかかるお金」「法律セミナー」の勉強会を開いて、安心の子育てに役立てる。

団体名 あきた色育会（秋田市）
事業名 『色育』で楽しく子育て親育てプロジェクト

人間の生きる力として、[集中力] [想像力] [コミュニケーション力] が重要であり、色育でこの力を育みたい。ぬりえや絵本などを用いたワークや色育の効果を体験してもらう講座などを県内各地の幼稚園、保育園、子育てサークルなどで開催し、子どもたちの生きる力の育成に努める。

団体名 R a k u * i k u（秋田市）
事業名 秋田の働くママ・パパ応援企画！ 自分で考えられる、決められる！そんな子どもに育てよう！
「親のための質問力UPトレーニング講座」～子育てが楽しくなるママカフェプレミアム編～

R a k u * i k uは対人関係をより良いものにする心理学「選択理論心理学」をベースにした子育て法＝子育てが楽しくなるママカフェをこの3年間実施してきた。今回は“働くママ、パパ応援企画”として、「親のための質問力UPトレーニング講座」を開催する。4回連続の講座で、子育て環境の改善に役立てたい。

団体名 NPO法人いきいきFネット秋田（秋田市）
事業名 少子化対策のための親支援講座 Nobody's Perfect

ノーバディーズ・パーフェクトは「完璧な親なんていない」という考えのもとに、カナダで開発された学習プログラム。親同士が子育ての問題点や関心事を自分自身のことばで語り合う、講師（ファシリテーター）は問題の解決を目指すための進行役となり、参加者が新しい関係を築くためのサポートをする。子育てのスキルを高めるとともに、お互いに助け合うグループづくりを目指す。

団体名 ジャングルキッズスポーツ少年団（にかほ市）
事業名 地域貢献イベント 「踊って元気に！」



子どもたちが地域のおじいちゃんおばあちゃん世代、親世代、また同世代の小さな子どもたちまで一緒にダンスをして元気になろうという主旨で、10月8日象潟体育館を会場に、出演者も観客もみんなが共に楽しめる参加型のダンスイベントを開催する。

40万円コース

団体名 あおむしイングリッシュ（秋田市）
事業名 「エリックさんとハロウィンコンサート in Akita」

「親子で英語 in フォンテ文庫」という名称で、毎月第1土曜日に駅前フォンテ秋田6階のフォンテ文庫で、英語で絵本の読み聞かせなどの活動している。今回NHKのEテレ、こども番組「えいごであそぼ」に出演していたエリック・ジェイコブセン氏のコンサートを開催する。生の歌声を多くの子育て世代に届け、英語の楽しさを味わってもらう機会とする。

50万円コース

団体名 多胎サークル ひなっこクラブ（秋田市）
事業名 ひなっこフェスタ 2017

複数の同じ年齢の子どもを育てる多胎育児には特有の大変さがあり、大きなストレスを抱える家族が多い。そこで親子のストレス軽減、虐待予防に向けて同じ境遇にある多胎家族間の交流を目標に、10月22日秋田赤十字看護大学を会場にフェスティバルを開催する。多胎家族のリフレッシュ、育児の楽しさにつながることを目指す。

団体名 アミュージングサポート『あ☆そ☆ぶ』（大館市）
事業名 おおだて：ハッピー子育てプロジェクト

子育ての取り組みや応援について、様々な立場からの提言や意見交換をするフォーラムを大館市で開催する。他県市町村の取り組みについて様々な立場から意見を頂き、大館市のNPO、企業、行政をまきこんで子育て環境の整備に向けた理解を広める機会にしたい。

団体名 NPO法人秋田たすけあいネットあゆむ（秋田市）
事業名 チャイルド未来サポート事業

生活困窮世帯や母子支援施設、福祉施設等に食糧支援を行っている団体。今回は夏休みや長期休みに学校給食がなくなり痩せてしまう子どもたちに、学習の場と食事を提供する学習室を開設する。また生活困窮の高校生がいる世帯への定期的な食糧支援も実施したい。



少子化対策応援ファンド審査会

第17回本ファンド（2017年度第1回）助成事業決定

今年度は選考委員の改選期に当たっており、理事会に於いて次の7名が選任された。

栗谷 侑志	株式会社ワーズ
小室 秀幸	(株)小室経営コンサルタント代表取締役 インキュベーションマネージャー
小松 弘樹	秋田県あきた未来創造部 地域の元気創造課 県民協働推進班主幹兼班長
佐々木 美奈子	NPO法人いきいきFネット秋田 理事 秋田県男女共同参画センター 副センター長
高橋 雄悦	株式会社秋田魁新報社 総務局次長兼総務部長
沼倉 充	NPO法人秋田県南パソコン支援市民ネット 副理事長
村岡 典子	まちなかトーブ 代表

第17回の審査では、委員の互選により高橋雄悦委員に委員長をお願いすることになった。また小室委員は都合により公開審査は欠席された。

第17回あきたスギッチファンド助成事業は、5月8日～6月8日に募集。同時に秋田魁新報社からの寄付金で組成した冠ファンド「秋田魁新報社 がんと生きるファンド」の募集も行った。今回は全体的にこれまでになく応募件数が多く、特に30万円コース、50万円コースは3倍超の応募があった。

7月9日（日）遊学舎での公開審査会では、件数が多いので、プレゼンテーションを各団体説明10分、質疑応答5分と短縮して実施した。午前10時から午後4時までプレゼンテーションを行い、その後選考委員による検討協議に入った。30万円コース、50万円コース共に難儀し、30万円コースは募集件数を2件オーバーし5件を採択する結果となった。なお、選考委員が申請団体や申請事業の関係者である事業が今回2件あり、書類審査、公開審査ともに審査には加わらなかった。

募集、応募、採択状況

助成額	募集件数	応募件数	採択件数
上限10万円コース	3	6	3
上限30万円コース	3	10	5
上限50万円コース	2	7	2
冠ファンド がんと生きる			
上限10万円コース	1	1	1
上限20万円コース	1	1	1



本ファンド審査会

本ファンド

10万円コース

団体名 向能代子ども食堂（能代市）
事業名 子ども食堂が地域を変える

毎月第4土曜日、向能代地域センターで子ども食堂を開催し、家庭で十分な食事の提供を受けていない子ども、または孤食等に陥っている子どもに食事を提供する。また食事だけでなく、遊びや多世代交流、学習支援、傾聴などさまざまなメニューを用意して多くの人の居場所づくりを目指す。さまざまな支援者・団体の確保と連携により、継続して事業を実施していけるように努める。

団体名 竿燈まつりウエルカムステージ実行委員会（秋田市）
事業名 竿燈まつりウエルカムステージ

竿燈まつり期間に、秋田駅前のアゴラ広場で、ヤートセチームの演舞、ヒップホップダンス、和太鼓演奏、郷土芸能などのステージ発表、芸人やミュージシャンによるライブステージを行う。秋田駅から竿燈まつり会場をイベントでつなぎ、賑わいを創出すると共に、秋田の良さをアピールする。

団体名 大館市比内町扇田・横町町内会（大館市）
事業名 「100円横町食堂」の開催と多世代助け合いの居場所作り事業

大館市比内町扇田地区の横町町内会で、無人の家と公園を使って「100円横町食堂」を開催し、誰でも100円でお腹いっぱい食べられる場、子どもが遊び勉強できる居場所、多世代交流の場とする。これによって横町町内会が活性化し、新しい地域づくりへと発展することを目指す。

30万円コース



団体名 NPO法人ホームホスピス秋田（秋田市）
事業名 「認知症になってもだいじょうぶ」なまちづくり

認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症の人、その家族、地域住民、専門職等の誰もが、気軽に集うことができる認知症カフェを月に一度開催する。また、認知症について学ぶ講演会を二度開催する。認知症について正しく理解する仲間を増やし、認知症の方たちとともに歩むパートナーシップの関係を築いていきたい。

団体名 デフ・パペットシアター・ひとみ 秋田市公演実行委員会（秋田市）
事業名 デフ・パペットシアター・ひとみ 秋田市公演事業

人形劇団「デフ・パペットシアター・ひとみ」は、団員の半数が聴覚障がい者であるが、等身大の人形を操り、演劇的に構成された手話と音声のせりふで演ずる。聴覚障がい者だから作り出せる表現が、バリアを超えて、子どもたちはもちろん、演者、観客が一体となった演劇空間を作り出している。今回の演目「稲村の火」は、防災の理解を深めることに役立つ内容。生の人形劇を通して、演劇の魅力を感じてもらおうと共に、災害について考える機会としてもらう。

団体名 まちなかトープ（北秋田市）
事業名 直木賞作家渡邊喜恵子を偲ぶ会

北秋田市出身の直木賞作家・渡邊喜恵子氏の作品を広く紹介し、人と業績を偲んで次の事業を行う。

- ・講演会、講話
- ・展示…渡邊喜恵子氏ゆかりの品、作品本
- ・大師コのお餅会
- ・渡邊喜恵子作品感想文、女性物語短編小説募集

この事業を通して、若い世代にこの地に残してくれた渡邊喜恵子の思いや、女性の生き方を伝えていきたい。

団体名 エイジフレンドリーあきた市民の会（秋田市）
事業名 何歳でも「若々しく」 ～ドレスアップ支援を通じて、高齢者へ生き活きと街中に足を伸ばしてもらいたい～

当会は、エイジフレンドリー精神の普及を図るとともに、誰もが生き活きと過ごせる街づくりを目的として活動している。今回は「エイジフレンドリー夏祭り」の一貫として、一般高齢者をモデルにした路上ファッションショー及びモデルの撮影会を開催して、高齢者の方々に積極的に外出し、積極的に人と会い笑顔を増やし、生き活きと過ごす機会にしよう。

団体名 CHERISH（秋田市）
事業名 CHERISH マタニティ&ベビー・キッズフェス2017

妊婦さんから赤ちゃん、幼児、小学生まで、家族みんなで楽しむことができるイベントを、11月3日セリオンプラザで開催する。今回が3回目となる事業で、500人の参加を予定している。妊婦さん向けのマタニティヨガ、赤ちゃん向けのベビーマッサージ、幼児・小学生向けの工作等、多様なプログラムを提供。赤ちゃんから幼児・小学生まで幅広く対象にすることで、たくさんの親子との交流ができ、秋田での子育ては楽しい！と思ってもらえる機会としたい。

50万円コース



団体名 秋田県立金足農業高等学校造園緑地科【絆のカブトムシプロジェクト!】（秋田市）
事業名 カブトムシ 復興支援プロジェクト

秋田県立金足農業高校の造園緑地科では、校庭の木質廃材を活用し、カブトムシが産卵しやすい土づくりを行って、カブトムシを飼育している。これをクラス全員で岩手県の被災した小学校に届け、復興支援を行う。この事業を通して生徒たちのボランティア精神を養う。

また企業や講師と連携して、カブトムシの飼育方法や産卵しやすい環境づくりについて学習を深め、「昆虫ビジネス」へ発展させていきたい。

団体名 AKITA防災キャンプフェス実行委員会（秋田市）
事業名 2017 AKITA防災キャンプフェス

秋田魁新報社、日本赤十字社秋田県支部などで実行委員会を作り、9月23日～24日にAKITA防災キャンプフェスを開催する。防災についての知識はあっても、いざという時にはままならないことが多い。フェスでは、アウトドアでの活動や遊びを通して命を繋ぐさまざまなワークショップで学ぶと共に、各種展示を見たり触れたりして防災知識を身につけてもらい、災害が自分と無関係なことではないという意識づけをしていきたい。

冠ファンド 「秋田魁新報社 がんと生きるファンド」

10万円コース

団体名 NPO法人由利本荘にかほ市民が健康を守る会（由利本荘市）
事業名 がんと生きるつどい

由利本荘市のカフェレストランを借り切って、がん患者やその家族がコーヒーを片手に寛ぎながら語り合える場を5回設ける。がんを経験した市民や医師、歯科医師、看護師、薬剤師、ケアマネージャー等も参加し、側面から支援する。がん患者やその家族の癒しの空間を作るとともに、その中からニーズを引出して今後の活動に繋げたい。

20万円コース

団体名 がんカフェあきたの会（秋田市）
事業名 がんと向き合っどう生きるかを考える



がん患者や家族の話聞く「がんカフェあきた」を月1回、がんサバイバーの声を聞いて、がんを生きることへの理解を深める勉強会を10月に1回開催する。また11月には全国的に活躍しているがんサバイバーを講師に「がんと向き合っどう生きるかを考える」シンポジウムを開催する。がんを体験した方たちから新しい生き方を聞いて、その体験を社会に活かし、秋田県のがん医療をさらに良くしていきたい。

助成事業報告会

7月30日（日）遊学舎に於いて、第14回・第15回助成事業報告会&NPO交流会を開催した。

第14回助成事業：平成27年度第2回の助成で7団体、事業実施期間は27年12月14日から28年8月31日

第15回助成事業：平成28年度第1回の助成で9団体、事業実施期間は28年7月4日から29年2月10日

報告団体一覧

第14回助成事業（団体名、事業名）

Raku☆iku 人間の心理を専門的に学び、”子育て”の中に役立てよう！～「ママカフェリピーターズ」で学ぶ 『選択理論心理学』

NPO法人尚生ふくし園 Nature Farm in NOSHIRO

NPO法人由利本荘にかほ市民が健康を守る会 MED プレゼン in 秋田

サークル山鳩 高齢者の生きがいの場創出事業

本庫 HonCo 世代を越えて老いを考える ～本を通して～

こまち女酒会 イマドキ女子のための日本酒入門

サービストラベル International Cooperation Club 秋田の若者に国際協力を広める活動

第15回助成事業 (団体名、事業名)

秋田県音楽普及協会 (おんぷの会)	アマチュア音楽愛好者たちの祭典 第2回チャレンジコンサート
白瀬南極探検100周年記念会	南極昭和基地開設60周年記念 南極探検隊長白瀬中尉を偲ぶ集い
全日本断酒連盟秋田県断酒連合会	平成28年度アルコール問題相談支援会・市民セミナー
ぬくだまの仲間たち	チャリティショップ&チャリティスタディ
竿燈まつりウェルカムステージ実行委員会	竿燈まつりウェルカムステージ
あきたの本っこ制作委員会	かだるフェス in 大館
NPO多摩東成年後見の会・大館の友	市民後見人と「マイノート」の普及活動
横手ウェルカムミュージック事業実行委員会	横手ウェルカムミュージック事業
ゆざわフレンズネット	被災地の”いま”を知る交流事業

会場には、各団体が助成事業の成果をポスター展示。



発表のトップバッターは本庫HONCO。
画像で本庫の建物内部を写し出しながら、
「世代を越えて老いを考える ～本を通して～」について説明した。読書会や講演会など、
内容の濃い発表であった。



その後、会場を廻りながら、ポスターの前で各団体からの事業説明と質疑を行った。



休憩をはさんで、次に南米の音楽を鑑賞。
これは秋田県音楽普及協会（おんぷの会）の「アマチュア音楽愛好者たちの祭典 第2回チャレンジコンサート」に出演したグループの演奏。楽器演奏、歌と、仲間で楽しく頑張っていることが伝わってきた。



報告会の後、参加者による意見交換会を行った。2グループに分かれて、活動の課題などについて話し合った。最も話題に上ったのは、活動をどう継続させるかという問題。仲間を増やす、後継者を育てる、活動経費を確保するなど、どの団体も問題を抱えているということであった。

参加者は多くなかったが、名刺交換をしながら、じっくり話し合い交流を深める機会となった。

あきたスギッチファンド寄付者一覧（平成29年4月～平成29年7月）

あきたスギッチファンド寄付金受取額 4月～7月

727,458円

※敬称略、順不動、お名前の公開許可を頂いた方のみ掲載します。

団体・企業等	株式会社福岡ドライクリーニング、株式会社あくら、 みちのくコカ・コーラボトリング株式会社、有限会社ワタ商事、株式会社伊藤園秋田支店、 サントリービバレッジサービス(株)秋田支店、ダイドードリンコ株式会社、(株)秋田銀行、 奥羽住宅産業(株)、紡ぐ人実行委員会、スギッチ応援隊、Soup Holic、 NPOまつり実行委員会、椿台ゴルフクラブ、
個人	小林祐子、堀井啓一、武藤 馨、高橋信子、田畑 薫、菅原拓男、代田浩章、大関 力、 菅原勝康、長澤源一、藤原睦子、藤原勝耕、富樫嘉津恵